

第 31 回全国「みどりの愛護」のつどい

令和 2 年 5 月 16 日(土曜日)、福井県立福井運動公園(福井市)にて、表彰式が開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から取りやめとなりました。

全国から 115 団体が表彰され、本市からは、2 団体が表彰を受けました。

◆宮北公園愛護会 様(中川区)

昭和 50 年 5 月設立。地元町内会、老人会のメンバーを中心に組織し、現在 10 名程度の会員で活動を行っています。

主な活動内容は、公園内の除草、清掃、花壇管理等を月に 8~12 回、防犯性を高めるために、年 2 回(5, 10 月)生垣の刈込を行っています。特に花壇管理では、ガザニア、デージー、パンジー等の季節に合わせた様々な種類の花を植えることで、公園を訪れる地域の方々を楽しませています。

また、公園内のサクラの管理にも力を入れており、枯れ枝の剪定や枝へのあて木設置等の維持管理作業を行うばかりではなく、枯れた樹木の跡地には新たにサクラの苗木を植樹するなど、宮北公園を地域のサクラの名所にすることを目標にして積極的に活動に取り組んでいます。



◆百合が丘ふれあいの径 様(守山区)

平成 16 年 3 月設立。街園整備の計画段階からワークショップを通じて積極的に関わってきました。平成 18 年に街園を竣工してからは、愛護会として街園や周辺歩道の除草・清掃、街園内の花壇管理を行うなど、愛着を持って美化活動に取り組んできました。

また、種から花苗を育て、町内や区役所への配布を行うほか、緑化フェアへの出張ボランティアとして花植えを行うなど、幅広く緑の愛護に携わってきました。

平成 26 年からは緑のパートナーへ移行し、市との連携を一層強めながら緑豊かなまちづくりに貢献しています。

